







<p>【イベント名】 メキシコ学術ネットワーク春季大会</p>	<p>【概要】 メキシコ、プエルト・バジャルタで開催されたメキシコ学術ネットワーク春季大会において、ラテンアメリカと日本の間における遠隔医療についてのセッションを主催した。セッションでは、大阪国際がんセンターのDr. 上堂から症例提示後にメキシコの3病院を含むラテンアメリカの病院間で討論する、遠隔医療カンファのライブを行った。またTEMDECから遠隔医療の技術に関する発表が行われた。</p>
<p>【期日】 2017.06.02</p>	
<p>【会場】 ホテルシェラトン ブーゲンビリア (メキシコ), メキシコ国立医学・栄養センター (メキシコ), メキシコ癌研究所 (INCan) (メキシコ), メンチャカ・グアダラハラ市民病院 (メキシコ), カリ・ザビエル大学 (コロンビア), コスタ・リカ大学 (コスタリカ), チリ・カトリック大学 (チリ), 大阪国際がんセンター (日本), 九州大学病院 (日本)</p>	
	
<p>モニタに表示される接続施設。</p>	<p>メイン会場の座長席。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：ホテルシェラトン ブーゲンビリア</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>コメントするProf. Carlos Casaus (中央)。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：ホテルシェラトン ブーゲンビリア</p>
	
<p>大阪国際がんセンターの様子。</p>	<p>メキシコ国立医学・栄養センターでの記念撮影。</p>
<p>撮影場所：大阪国際がんセンター</p>	<p>撮影場所：メキシコ国立医学・栄養センター</p>